第六号の二書式（第二十条の三関係）

建築士法第23条の6の規定による
設計等の業務に関する報告書

（第一面）

建築士法第23条の6の規定により、設計等の業務に関する報告書を提出します。この報告書の記載事項は事実に相違ありません。

山口県知事 様

報告書提出日

建築士事務所山口県登録第　　号

建築士事務所の名称

建築士事務所の所在地
〒

建築士事務所の電話

建築士事務所のFAX

建築士事務所の開設者の氏名又は名称

会社名			
役職		氏名	

今回の報告書の対象の事業年度　　～

〔記入注意〕建築士事務所の開設者が法人である場合には、法人の代表者の氏名も併せて記載すること。

（第二面）

建築士事務所の業務の実績

〔記入注意〕

1　当該事業年度における直近のものから順次記入して下さい。1枚に収まらない場合は、複数枚にわたって全ての業務について記入して下さい。

2　当該事業年度に業務がなかった場合は、一行目の最初の欄に「該当なし」と記入してください。

3 〔例〕

山口県	共同住宅	鉄筋コンクリート造 五階建延700㎡	設計及び工事 監理	2007. 2.1 2007.10.3

建築物所在地 都道府県	建築物の用途	構造及び規模	業務内容	（業務を行った） 期間

（第三面）

所属建築士名簿　　（事業年度末現在）

氏名	一級建築士 二級建築士 木造建築士の別及び管理建築士である場合にあっては、その旨	登録番号	登録を受けた都道府県名（二級建築士又は木造建築士の場合のみ）	建築士法第２２条の２第１号から第３号までに定める講習のうち直近のものを受けた年月日（直近の所属建築士の法定定期講習の受講年月日）	構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士である場合にあっては、その旨	構造設計一級建築士証又は設備設計一級建築士証の交付番号	建築士法第２２条の２第４号及び第５号に定める講習のうちそれぞれ直近のものを受けた年月日（直近の構造／設備設計一級建築士の法定定期講習の受講年月日）
計	一級建築士					名	
	二級建築士					名	
	木造建築士					名	
	構造設計一級建築士					名	
	設備設計一級建築士					名	

（第四面）

所属建築士の業務の実績

〔記入注意〕

1　所属建築士の当該事業年度における業務の実績を、当該建築士事務所におけるものに限って、直近のものから順次記入して下さい。1枚に収まらない場合は、複数枚にわたって全ての業務について記入して下さい。

2　当該事業年度に業務がなかった場合は、一行目の最初の欄に「該当なし」と記入してください。

3　〔例〕

山口太郎	山口県	共同住宅	鉄筋コンクリート造 五階建延700㎡	設計及び工事 監理	2007. 2.1 2007.10.3

(担当した)所属建築士の氏名	建築物所在地都道府県	建築物の用途	構造及び規模	業務内容	(業務を行った)期間

（第五面）

管理建築士による意見の概要

〔記入注意〕

1　当該事業年度における直近のものから順次記入して下さい。1枚に収まらない場合は、複数枚にわたって全ての意見について記入して下さい。

2　開設者と管理建築士が同一人の場合、当該事業年度に業務がなかった場合又は意見を述べなかった場合は、一行目の最初の欄に「該当なし」と記入してください。

管理建築士の氏名	建築士事務所の開設者に対して述べられた意見の概要	当該意見が述べられた日